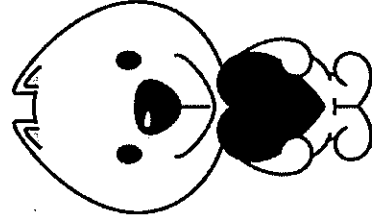


資料1

当面の病床機能の転換予定等について



田辺保健所

これまででに確認済みの病床機能転換等の一覧（田辺保健医療圏構想区域）

資料1-1

No.	医療機関名	転換等の内容	転換等の時期
1	玉置病院	慢性期90床を介護医療院へ転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 回復期34床、慢性期32床（計66床）	平成31年4月
2	紀南病院	急性期37床を高度急性期へ転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 高度急性期51床、急性期、251床、回復期50床（計352床）	令和元年11月
3	白浜はまゆう病院	慢性期48床を介護医療院へ転換、慢性期4床を回復期に転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 急性期82床、回復期80床、慢性期48床（計210床）	令和2年4月
4	南和歌山医療センター	①急性期病床40床を高度急性期へ病床機能報告の報告区分を変更（和歌山における定量的な基準の採用） ＜変更後の機能別病床数＞ 高度急性期62床、急性期、208床、回復期46床（計316床） ②産婦人科の入院医療提供の取りやめ	①令和元年度 ②令和2年度
5	国保すさみ病院	移転建築の計画中。ダウンサイジングの方向。それまでの間は、現行の機能と病床数を維持する。 病院周辺の地域性を鑑みて、病床機能を検討。	令和5年度ごろ
6	田辺中央病院	病院の移転時に急性期33床を回復期に転換予定 ＜転換後の機能別病床数＞ 急性期50床、回復期89床（計139床）	令和6年9月以降

医療機関名 国保すさみ病院

病床機能の転換等について〔田辺保健医療圏構想区域 協議の場〕

現在の病床機能【概要】					<令和3年10月現在>	
機能区分	病床数	入院基本料	又は	特定入院料	病床数	稼働率(注)
高度急性期						
急性期						
回復期	1	急性期一般入院料 6			48	32.3%
慢性期						
計	1	—			48	32.3%
(備考)						
療養病床の令和元年7月1日から31日までの稼働率は上記に含んでいる。						

(注) 令和元年7月1日～令和2年6月30日までの病床稼働率



転換の予定					<令和5年12月以降>	
機能区分	病床数	入院基本料	又は	特定入院料	病床数	
高度急性期						
急性期						
回復期	1		現在検討中		25	
慢性期						
計	1		—		25	
(転換の概要)						
ダウンサイジングを行い地域包括ケア病床への転換を視野に入れた病床機能を現在検討中。						

現在の病床機能【詳細】

令和元年8月1日より、療養病床を休止し、急性期一般病床での運営を行い持続可能な病院運営や病院機能の検証を行っている。

和歌山における定量的基準を適用し、回復期として報告している。



転換後における病院のあり方

白浜町から串本町までの間で唯一の二次救急医療を有する公的医療機関であり、地域に密着した病院であることから行政が責任をもつて医療の確保と向き合う必要があり、持続可能な適正規模の病床を維持したいと考えている。

<地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等>

☐ 有
 ☐ 無
 ☒ 検討中
 ☐ 指定済み